

平成 23 年度 立川基地跡地昭島地区に係る猛禽類保護方策検討委員会

議事録

議 事

(1)希少猛禽類について

○希少猛禽類の生息状況調査結果について事務局から報告

(2)平成 24 年度以降の工事スケジュールについて

○今後の施設整備の概要について法務省から説明

(3)討 議

○営巣期に工事を実施する場合の対応について

(委員の主な意見)

- ・問題が発生しそうな工事を実施せざるを得ない場合、監視のための人員を配置したうえで、いくつかの問題を事前に想定しておき、いくつかの計画を組んでから実施した方が良い。実施する中で、スムーズに進む場合と、判断に苦慮する場合とが当然出てくることから、実施する前に、かなり細かく想定を組んでおく必要がある。
- ・希少猛禽類の分かる人を現場に配置し、工事の全景が分かるようなモニターと、巣の状態が分かるモニターを確認しながら、新しい工事でどのような反応をするのか確認しながら、やられたら良い。

○法務省施設の工事について

(委員の主な意見)

- ・法務省施設の敷地全部を一度に伐採するというのは、如何なものか。もう少し検討してほしい。
- ・保護区域に近接する建物を先に建設し、防御壁のようにして、背後で工事を進めていくといった考えもあるかもしれないが、全体を一気に伐採するのではなく、段階的に伐採を行い、食べ物を得る場所として機能する場所をできるだけ残すような工程を組み立ててほしい。
- ・いきなり全域を伐採ということは、インパクトが大きい。なるべく影響の少ない部分から着工するという方法もあり、工事を何段階かにわけ、本体部分の工事は北側部分から実施するような形に組み直すことができないかご検討頂きたい。

(4)連絡事項

○今後の開催日程(年 1 回程度実施)について確認した

以 上